

## 経営体の概要

- ・所在地：北海道士別市
- ・経営体名：  
上士別北資源保全組合
- ・栽培作物・作付面積：  
水稲・692ha
- ・構成員農家数：36名
- ・ほ場水管理システム導入戸数：9戸  
(令和6年3月現在)

## 導入経緯

- 当該地区は国営農地再編整備事業による水田の大区画化が行われ（1筆平均3.4ha）、稲作の効率化が進められており、一層の効率化を図るため、日々行う水管理の省力化が求められていた。
- 気象の変化にリアルタイムに対応する効率的、効果的な水管理により、収量・品質の向上が求められていた。また、給排水のムダを省くことにより、節水による水資源の有効活用と、「田んぼダム」機能の強化による防災・減災力の向上が求められていた。
- そこで、多面的機能支払交付金を活用し、令和2年度からほ場水管理システムの運用を開始した。

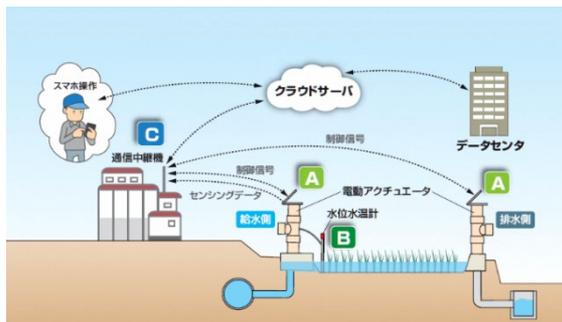
## 導入技術

・ほ場水管理システム「WATARAS」((株)クボタケミックス製)

水田の給水・排水をスマートフォンやパソコンでモニタリングしながら、遠隔操作または自動で制御できるシステムである。これにより、少ない労働時間でほ場の水管理を最適化できるとともに、水管理に関するデータを収集することができる。

## 取組の特徴・効果

- ほ場水管理システムを導入したことにより、スマートフォンやパソコンで水田の水位・水温の確認および水管理の遠隔操作・自動給水が可能になった。
- これにより、5月から8月までの水管理作業時間が76%削減されたとともに、冷害危険期の深水管理が実践され、収量・品質の高位安定化が図られた。
- ほ場水管理システムの導入で、「田んぼダム」による防災・減災力の強化され、洪水被害等の軽減が期待されている。
- ほ場水管理システムによって得られたデータをもとに、地域における最適な水管理技術や用水の有効活用方法の確立に向けた検討が行われている。



ほ場水管理システムの全体イメージ



電動アクチュエータと水位水温計